2025年10月7日

ADKクリエイティブ・ワン、参画事業
「チームラボ バイオヴォルテックス 京都」10月7日オープン。
～ 物質の概念を超越した世界に、身体ごと没入する世界 ～

株式会社ADKクリエイティブ・ワン(本社:東京都港区、代表取締役社長:森永賢治、以下「ADK CO」)が参画するチームラボ バイオヴォルテックス 京都有限事業責任組合による、常設アートミュージアム「チームラボ バイオヴォルテックス 京都(以下、本館)」が、2025年10月7日(火)にオープンしました。京都駅から徒歩圏内に位置するこのミュージアムは、延べ面積約10,000平方メートル、50を超える作品群で構成され、チームラボの国内最大規模のミュージアムとなります。

<https://www.teamlab.art/jp/e/kyoto/>

本館では、「環境が現象を生み、その現象が存在を創る」という「[環境現象](#)」をコンセプトにした日本未発表作品《[質量も形もない彫刻](#)》をはじめ、初公開作品《[メガリス](#)》、《[生と回帰の儂い抽象](#)》、そして教育的なプロジェクトをテーマとした、複雑で立体的な創造的運動空間「運動の森」や、共創(共同的な創造性)のための「学ぶ! 未来の遊園地」、スケッチファクトリーなど、50以上の作品群で構成されています。

「チームラボ バイオヴォルテックス 京都」© チームラボアーキテツ

チームラボ《質量も形もない彫刻》© チームラボ

チームラボ《変容する連続体》©チームラボ

本事業は、京都・大阪を基盤とする複数の企業などと共に、京都駅東南部エリアにおける市有地に、「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」となる施設の設置・運営を行う事業です。本事業を通して、京都市が京都駅東南部エリアにおいて目指す、文化芸術や若者を基軸としたまちづくりの推進に貢献します。

ADK CO は、『ファングロースパートナー』という ADK グループビジョンのもと、ファンを生み出し、ファンとの絆を深め、ファンと共に新しい価値を生み出す体験創造を行っています。今回、総合クリエイティブ会社としての知見を活かし、地域と世界をつなぐ複合文化施設を開業する本事業に参画し、国内外から多くの人を呼び込み、交流する機会を創出し、新たな人の流れを生み出し、すべての人々の生活を明るく豊かにする体験創造を行っています。

<株式会社 ADK クリエイティブ・ワン 会社概要>

最新のアド・テクノロジーを活用しながら、デジタル、クリエイティブ、アクティベーション領域でリアルとオンラインを融合させた最高のブランド体験を提供する総合プロデュース会社。クライアントの商品やサービスの体験価値を向上させ「ファン」の獲得・育成へ導き、長きにわたり「ファン」に支持されていくことで、クライアントビジネスの持続的成長に寄与する最適なコミュニケーションを提供します。

・ADK CO ウェブサイト <https://www.adkco.jp/>

本件に関する問合せ先

株式会社 ADK クリエイティブ・ワン

第1 デジタル&アクティベーション・プロデュース本部 吉田、一寸木

第2 デジタル&アクティベーション・プロデュース本部 進藤

株式会社 ADK ホールディングス

経営企画本部 PR・マーケティンググループ 大沢 e-mail: mspr@adk.jp